

【教材見本】

財務諸表論

一問一答・要点チェック問題

ホームページ用に第1章「財務会計総論」の
第1節「わが国の財務会計の全体像」を抜粋。

<本教材見本に含まれるもの>

- ・一問一答・要点チェック問題 全23問（P2～P6）

(注)PDFファイルのため少し見えづらくなっております。

《第1節の一問一答・要点チェック問題》

	要点チェック問題	☑	解答・解説
1	フィードバック・アプローチとは、どのような意思決定プロセスをいうのか？		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、現在の企業価値を評価し、将来の投資の成果を予測する（＝<u>予測価値</u>）。 ・その後、実際の投資の成果を把握し、これと当初期待した投資の成果と比較し、当初の投資の成果の期待を改訂する（＝<u>フィードバック価値</u>）。 <p>解説</p> <p>このようなプロセスで投資意思決定することをフィードバック・アプローチという。特に、第2段階のプロセスを重視するため、この名称がついた。</p>
2	問1を踏まえて、財務会計の目的を2つ示しなさい。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【第1目的】投資者が自己の責任で<u>企業価値を評価し、将来の投資の成果を予測することが可能となる情報の提供</u> ・【第2目的】当初の期待の改訂が可能となる<u>実際の投資の成果に関する情報の提供</u>
3	わが国が想定する株主はどのようなものか？		<p>解答</p> <p><u>現在株主</u>（<u>将来株主を除く</u>）で、かつ<u>親会社株主</u>（<u>親会社説</u>、<u>少数株主を除く</u>）</p> <p>解説</p> <p>将来株主や少数株主も資本主を含むのは海外</p>
4	貸借対照表はいかなる情報を提供する報告書なのか？		<p>解答</p> <p><u>投資のポジション</u>（<u>投資のストック</u>）に関する情報を提供する報告書</p> <p>解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような貸借対照表は、特に投資者が自己の責任で、<u>企業価値を評価し、将来の投資の成果を予測することを可能ならしめる</u>。 ・<u>企業会計原則では、財務流動性に関する情報</u>（＝<u>支払能力</u>）を提供するものが貸借対照表で、これを<u>財政状態</u>と呼んでいたが、概フレでは投資のポジションに関する情報を提供するのが貸借対照表と考えるため、<u>財政状態という言葉は使用しない</u>。
5	資産とは何か？（一言で）		<p>解答</p> <p><u>期末時点に存在している経済的資源の支配</u></p>

	要点チェック問題	☑	解答・解説
6	負債とは何か？（一言で）		<p>解答</p> <p>期末時点に存在している返済義務</p> <p>解説</p> <p>特に、負債の要件の第2と第3が重要。</p>
7	株主資本とは何か？ 株主の種類に着目して答えよ。		<p>解答</p> <p>①現在株主に帰属するもの（将来株主を除く）で、かつ、②親会社株主に帰属するもの（少数株主を除く）（注）</p>
8	連結財務諸表上、海外では資本だが、わが国では資本でないものを挙げよ。		<p>解答</p> <p>新株予約権 その他の包括利益累計額 少数株主持分</p> <p>解説</p> <p>これらは、現在の株主に帰属しないか、もしくは親会社株主に帰属しないものである。</p>
9	貸付金と借入金を例に、資産と負債の定義がバラレルでないことを説明せよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産の定義＝<u>経済的資源</u>＝将来の<u>資金回収可能性</u> ⇒貸付金は<u>信用リスク</u>を考慮した「<u>回収可能な金額</u>」で評価する。 ・負債の定義＝<u>返済義務</u>＝将来の<u>資金返済義務</u> ⇒借入金は<u>信用リスク</u>を考慮しないで「<u>額面額</u>」で評価する。
10	損益計算書はいかなる情報を提供する報告書なのか？		<p>解答</p> <p>実際の投資の成果（投資のフロー）に関する情報を提供する報告書</p> <p>解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、<u>純利益</u>が投資の成果を示す情報として重要である。 ・<u>企業会計原則</u>では、<u>経営成績</u>を表す利益として特に重視していたものは<u>経常利益</u>だが、概フレでは純利益を重視するため、<u>経営成績</u>という言葉は使用しないこととした。

（注）資本の種類と帰属する株主との関係

	親会社	少数株主
現在の株主	株主資本	少数株主持分
将来の株主	その他の包括利益累計額と新株予約権	

全てを包括した資本を株主持分（＝純資産）という。

	要点チェック問題	<input checked="" type="checkbox"/>	解答・解説
11	当期純利益は、いかなる株主に帰属する利益なのか？		<p>解答</p> <p>①現在の株主に帰属するもので、②親会社株主に帰属するもの（注）</p>
12	純利益の特徴は何か？資本との関係、実現との関係、連結上の考えを示しなさい。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> 資本との関係：株主資本の当期変動差額（資本取引の増減は除く） 実現との関係：リスクから解放された投資の成果（この結果、未実現利益である<u>その他の包括利益</u>は含まれない） 連結上の考え：親会社に帰属する利益（少数株主の利益は除く）
13	包括利益の特徴は何か？資本との関係、実現との関係、連結上の考えを示しなさい。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> 資本との関係：株主持分（純資産）の当期変動差額（資本取引の増減は除く） 実現との関係：実現した利益（当期純利益）だけでなく、実現していないが実現する可能性のある利益（その他の包括利益）も包括する 連結上の考え：親会社に帰属する利益（当期純利益）だけでなく、少数株主に帰属する利益（少数株主利益）も包括する
14	連結ベースの当期純利益の算定式を指摘せよ。		<p>解答</p> <p>連結当期純利益＝収益－費用－少数株主利益</p>
15	連結ベースの包括利益の算定式を指摘せよ。		<p>解答</p> <p>連結包括利益＝少数株主損益調整前当期純利益（＝当期純利益＋少数株主利益）＋その他の包括利益</p>

（注）利益の種類と帰属する株主との関係

	親会社	少数株主
現在の株主	当期純利益	少数株主利益
将来の株主	その他の包括利益	

全てを包括した利益を**包括利益**という。

	要点チェック問題	☑	解答・解説
16	当期純利益のクリーン・サープラス関係を指摘せよ。		<p>解答</p> <p>資本取引を除いた株主資本の当期増加額（BS）と当期純利益（PL）が一致するという関係。</p>
17	包括利益のクリーン・サープラス関係を指摘せよ。		<p>解答</p> <p>資本取引を除いた株主持分（純資産）の当期増加額（BS）と包括利益（CI）が一致するという関係。</p>
18	収益の必要条件と十分条件を挙げよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(必要条件) 資産の増加や負債の減少がある ・(十分条件) 投資のリスクから解放されている（＝実現している） <p>解説</p> <p>必要条件には例外がある(例:新株予約権の戻入)。</p>
19	費用の必要条件と十分条件を挙げよ。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(必要条件) 資産の減少や負債の増加がある ・(十分条件) 投資のリスクから解放されている（＝実現している） <p>解説</p> <p>必要条件には例外がある(例: <u>その他有価証券評価差額金の費用処理</u>)。</p>
20	クリーン・サープラスは企業価値評価と会計情報の信頼性確保にいかに関与しているのか。		<p>解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資本の増加額が利益」というクリーン・サープラス関係を利用して、投資者は、資本から将来の利益を推測し、それをもとに現在の自己創設のれんを評価し、企業価値を評価することが可能となる。 ・「資本の増加額が利益」というクリーン・サープラス関係が成り立つと、貸借対照表と損益計算書は無関係な財務諸表でなく、両者は資本と利益を通じて繋がっていることが解り、会計情報の信頼性を高める。

	要点チェック問題	<input checked="" type="checkbox"/>	解答・解説
21	「当期業績主義利益」という利益概念を「当期業績主義損益計算書」に言及することにより述べなさい。		解答 最終利益（ <u>経常利益</u> ）は、企業の正常かつ <u>経常的な活動から生じた経常収益と経常費用の差</u> で求められるという「当期業績主義損益計算書」における利益概念。
22	「包括主義利益」という利益概念を「包括主義損益計算書」に言及することにより述べなさい。		解答 最終利益（ <u>当期純利益</u> ）は、 <u>経常収益と経常費用だけでなく、臨時損益のような特別損益も包括する</u> ように算定すべきという「包括主義損益計算書」における利益概念。
23	「包括利益」という利益概念を「損益及び包括利益計算書」に言及することにより述べなさい。		解答 最終利益（ <u>包括利益</u> ）は、 <u>実現した利益（当期純利益）だけでなく、未実現の利益（その他の包括利益）も包括する</u> ように算定すべきという「損益及び包括利益計算書」における利益概念。